

2020年3月期 通期決算補足説明資料

➤ (2019年4月1日～2020年3月31日)

ビバモール東松山



株式会社LIXILビバ
2020年5月11日

ビバホーム
LIXIL VIVA

決算説明本編

..... P 2~14

参考資料（財務データ要約）

..... P 15~18

2020年3月期 通期 決算ハイライト

■ 計画[※]対比：売上高2.3%下振れ、営業利益7.6%上振れ

- 売上高は、天候要因、消費増税反動減、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのプロモーション自粛等マイナス要因の影響で計画に対して**2.3%下振れ**
- 営業利益は、売上高下振れによる影響を売上総利益率の改善、新店利益計画達成、販売費及び一般管理費の削減により、計画に対して**7.6%上振れ**
- 成長に向けた物流／IT投資、新規出店投資を計画通り実施
- 新店の下期集中出店の新モール3店も順調に推移

■ 前期比：売上高4.2%増収、営業利益7.5%減益

- 新店とリフォーム関連の売上が牽引し全体では**4.2%の増収**
- 営業利益は、売上総利益率が改善したものの、人件費、先行投資費用としての物流費、システムコストが増加し、前期比**7.5%減少**

■ 2021年3月期の業績予想については未定。予想可能となり次第公表いたします。

P/L (要約)

(単位:億円、%)

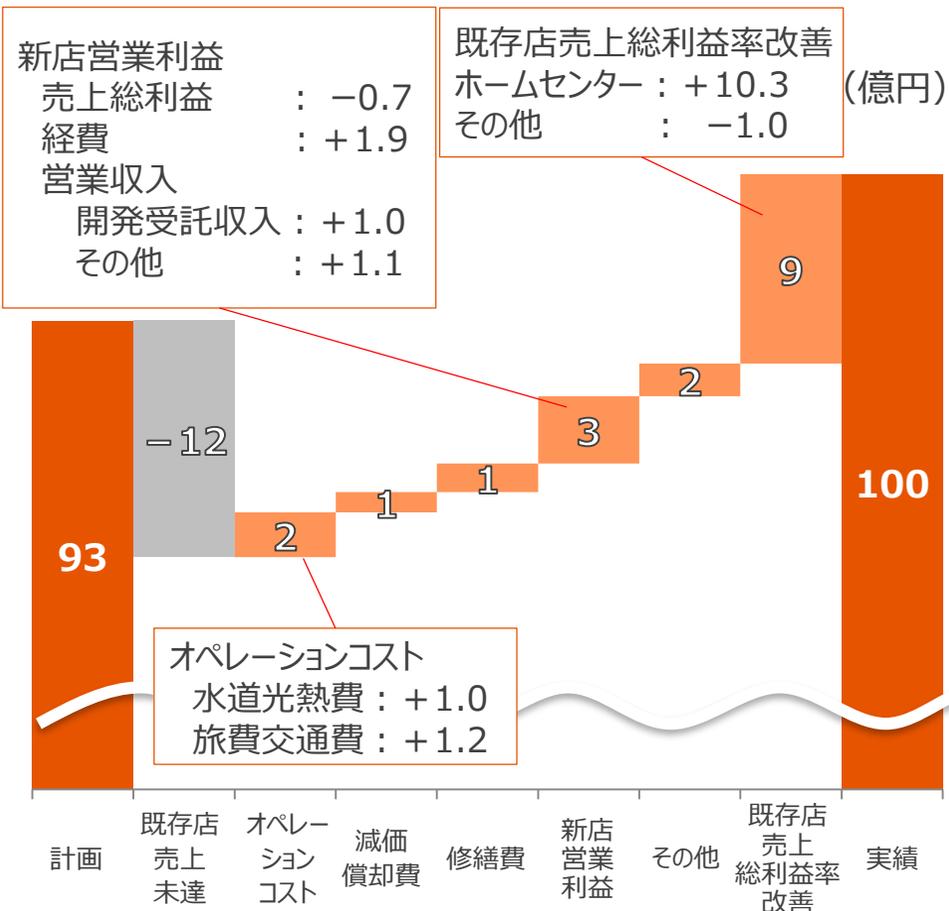
	2019年3月期		2020年3月期						
	金額	売上比	計画	金額	売上比	計画 差額	計画比	前期 差額	前期比
売上高	1,809	100.0	1,930	1,885	100.0	-44	97.7	75	104.2
売上総利益	594	32.8	641	637	33.8	-3	99.5	43	107.3
営業収入	69	3.8	80	83	4.4	3	103.8	14	121.4
営業総利益	663	36.7	721	721	38.3	0	100.0	58	108.8
販売費及び一般管理費	555	30.7	628	621	33.0	-7	98.8	66	111.9
営業利益	108	6.0	93	100	5.3	7	107.6	-8	92.5
経常利益	101	5.6	86	93	5.0	7	109.0	-7	92.9
当期純利益	184	10.2				※		-118	35.8
実質当期純利益 (除く抱合せ株式消滅差益)	66	3.7	51	65	3.5	14	127.3	-1	98.5

※特別損益の計画差異9億円 : P18「特別損益」参照

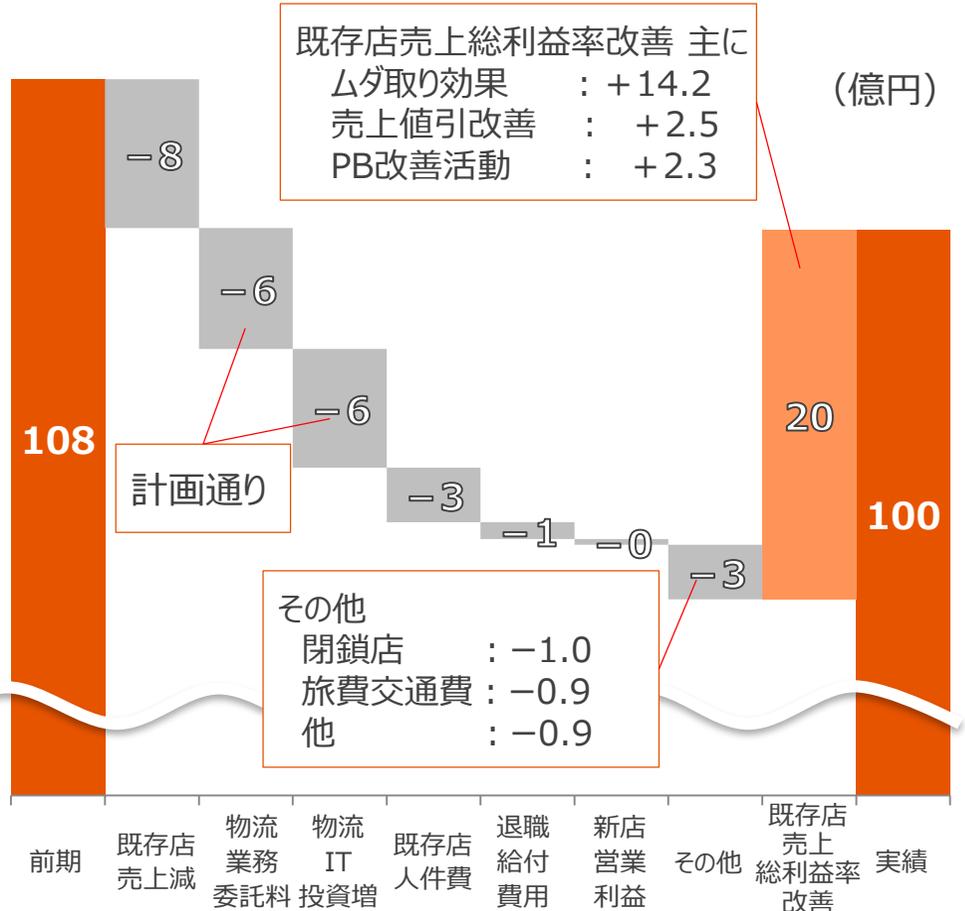
2020年3月期 通期 — 営業利益要因分析 —

売上未達を売上総利益率改善でカバーし、営業利益計画達成（+7億円） 新店も計画達成

計画比較



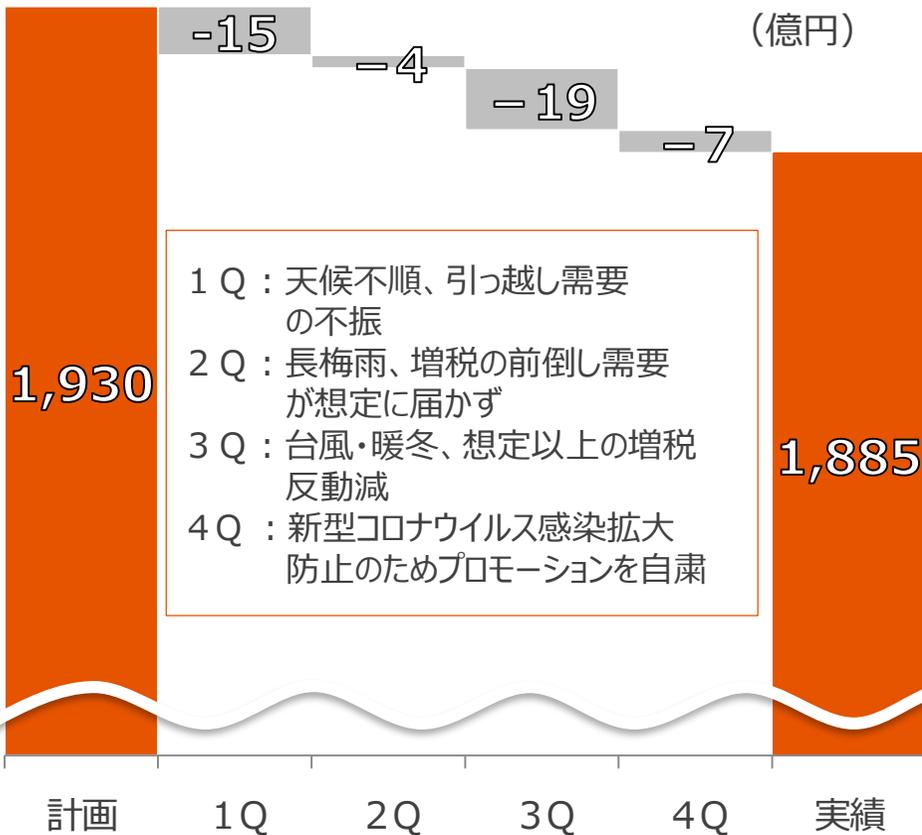
前期比較



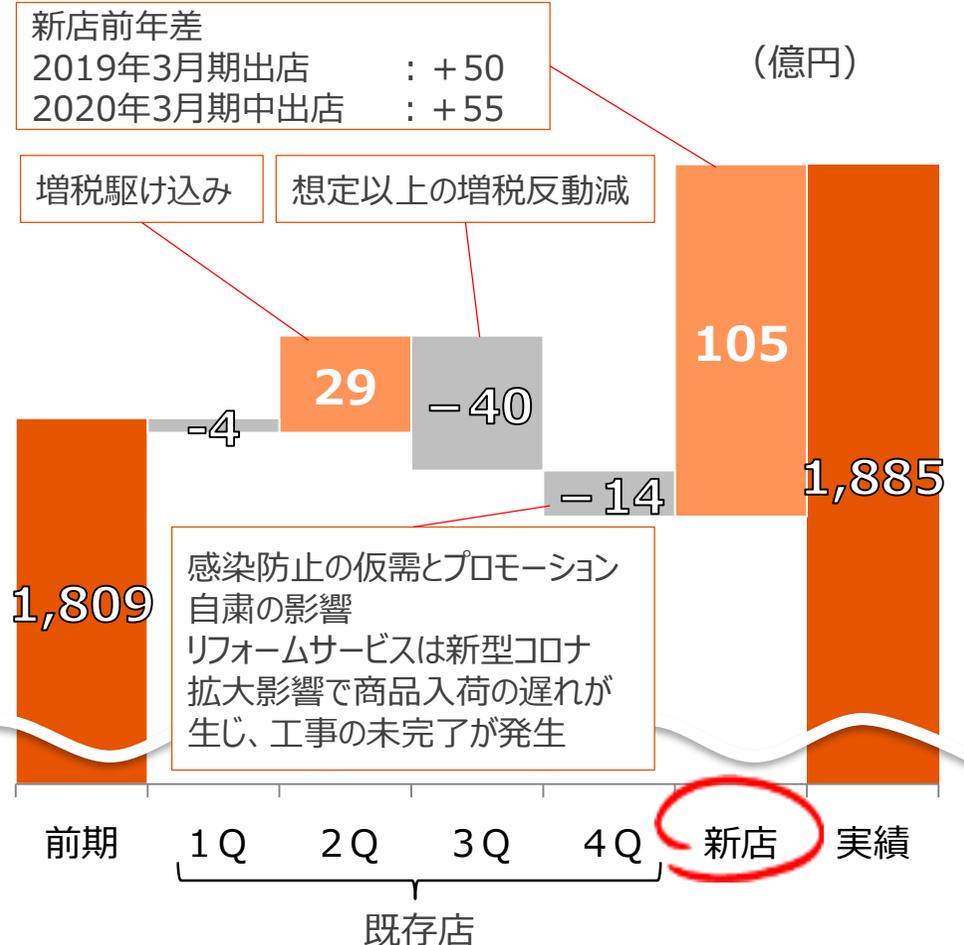
2020年3月期 通期 - 売上高要因分析 -

計画は天候要因、増税影響、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により2.3%下振れ

計画比較



前期比較



商品別売上高およびセグメント情報

リフォーム商材の売上が堅実に推移し、全体では4.2%増加（新店効果）

（単位：億円、%）

	2019年3月期		2020年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	全社 前期比	既存店 前期比
ホームセンター事業						
売上高	1,809	100.0	1,885	100.0	104.2	98.6
リフォーム関連（商材+サービス）	715	39.6	763	40.5	106.7	100.8
ホームセンター（HC）商材	650	35.9	663	35.2	102.0	96.7
一般商材	424	23.4	439	23.3	103.7	98.1
その他（通販・クラフトホビー）	18	1.0	18	1.0	96.7	96.7
営業収入	5	-	11	-	199.0	-
営業収益（売上高+営業収入）…①	1,815	-	1,896	-	104.5	-
デベロッパー事業						
営業収入……………②	63	-	72	-	114.1	-
営業収益合計（①+②）	1,878	-	1,968	-	104.8	-

ホームセンター事業

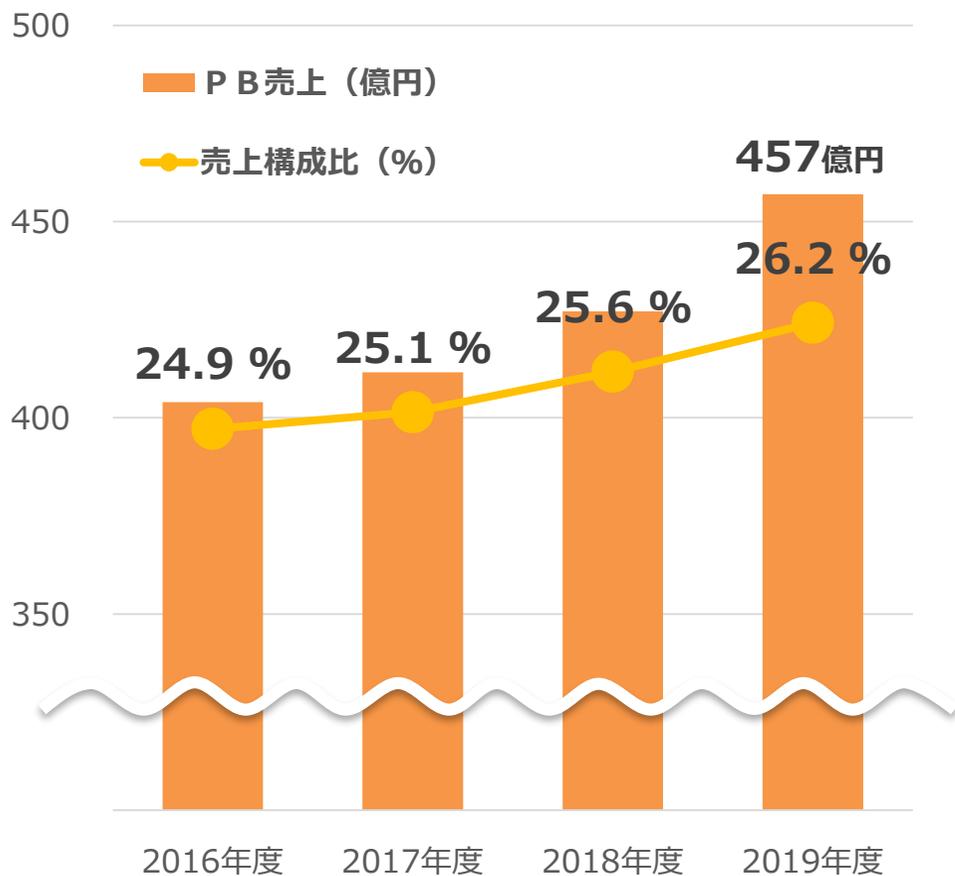
- ◆リフォーム関連…＜商材＞大工用品の工具・金物・ワーク用品が好調に推移。ワーク用品は新マーチャンダイジングとプライベートブランドが好調。
- ◆ホームセンター商材…重点カテゴリーのインテリアグリーン、シンプル家電が好調
- ◆一般商材……………暖冬で冬物商材が伸び悩んだものの、増税駆け込み、新型コロナウイルスの影響で、消耗品を中心に日用品が伸長

デベロッパー事業 前期に続き、既存モールは安定的に推移し、下期には新モデルのビバモール3店をオープン

商品開発

PB構成比は26.2%へ拡大、オリジナリティに富んだ当社独自のPB商品開発に注力

P B 商品売上と売上構成比推移※



※スーパービバホーム、ビバホームの売上構成比

【商品一例】

ヒーター内蔵
防寒ベスト (市場半値)



生産委託観葉植物
(沖縄・鹿児島)



多目的モバイルバッテリー
充電ソーラーパネル



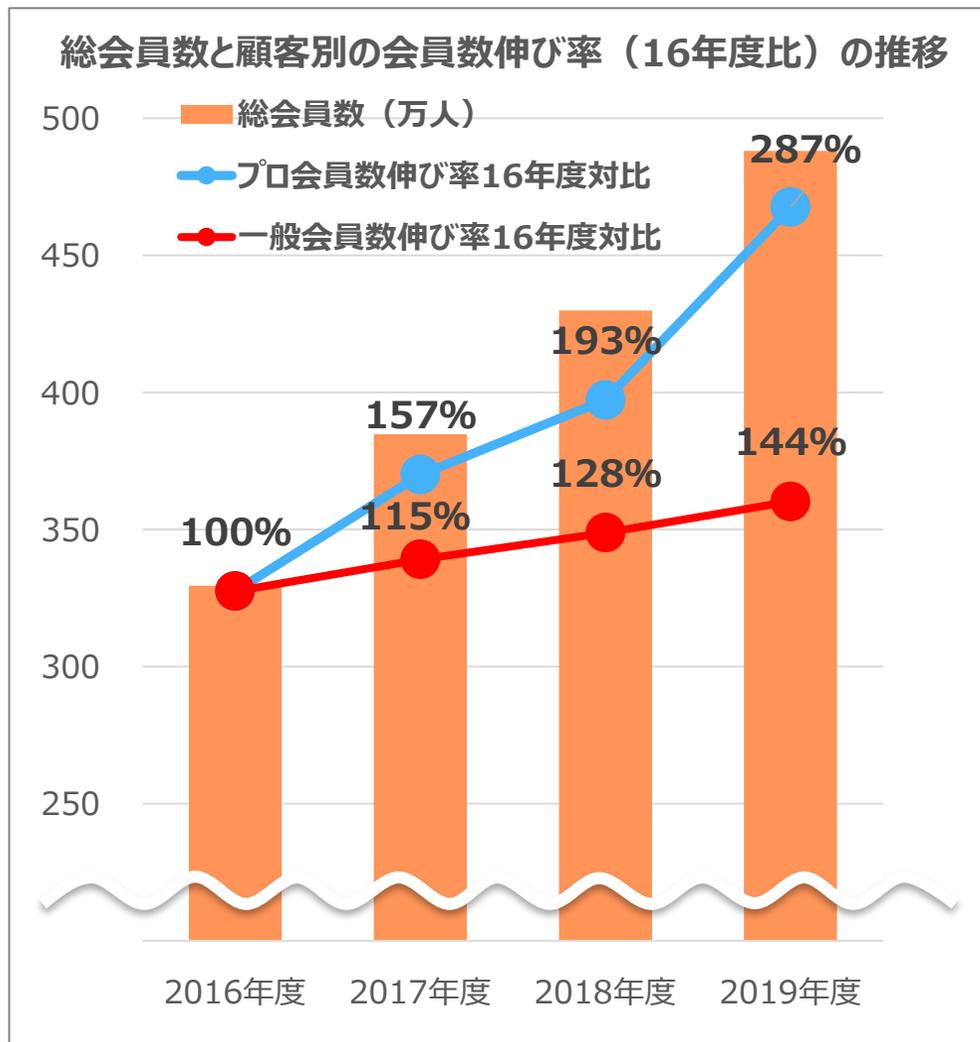
組立簡単家具
アンエッセ (ドライバー不要)



防災関連はテレビCMで積極PR

顧客戦略

カード会員は488万人で500万人目前、プロ会員数は拡大強化で前年の1.5倍に増加



- 【2019年度】：新規顧客の拡大
- ✓ アプリ会員の拡大
 - ✓ プロ向けカード会員獲得強化



2019年度カード会員数（単位：万人）

	2018年度		2019年度	
	会員数	会員数	18年比	
全体	430	488	113.5%	
プロ会員	20	29	148.5%	
一般会員	410	459	111.9%	

積極的な投資 総投資額137億円 対前年20%増 (計画：127億円)

新規出店：78億円



1年間で7店舗の出店を継続

ロジスティクスの再構築：19億円



新物流センター：年間3億円の経費削減期待効果

IT投資：18億円



人手不足への対応 (接客の効率化・棚卸作業)

店舗サービスの充実：9億円



- ・屋根付き駐車場
- ・リサイクルステーション
- ・直営カフェ
- ・セルフ洗車機
- 他改修等

2020年3月期オープンの新店振り返り

大型店のスーパービバホームを7店舗出店、居抜き2店舗・新築単独2店舗・ビバモール3店舗

形態	店名	所在地	出店月	総売り場面積
SVH	四日市泊店	三重県四日市市	4月	12,249m ²
SVH	志摩店	福岡県糸島市	5月	8,510m ²
SVH	小田原国府津店	神奈川県小田原市	9月	8,453m ²
SVH	大木店	福岡県三潞郡	10月	10,196m ²
SVH・VM	本庄店	埼玉県本庄市	11月	24,684m ²
SVH・VM	甲斐敷島店	山梨県甲斐市（山梨県初出店）	2月	17,316m ²
SVH・VM	東松山モール店	埼玉県東松山市	3月	23,167m ²



新モール1号 ビバモール本庄 11月オープン
総売り場面積:約24,684m² テナント数:37

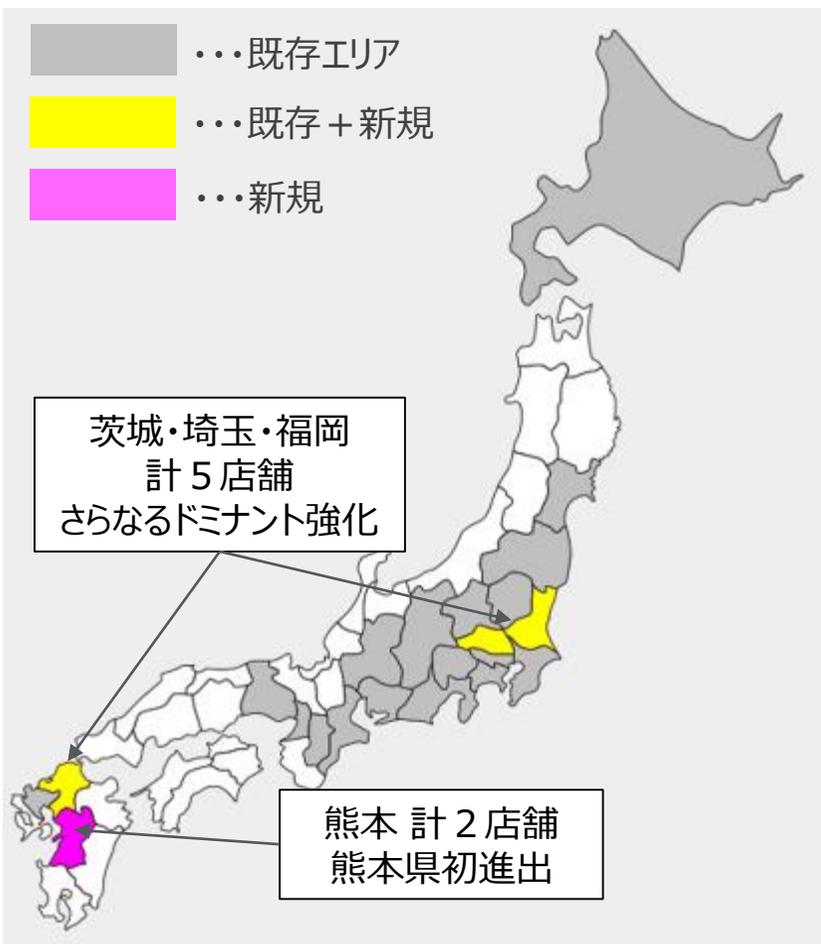


足湯コーナー等、疲れずに買い物を楽しむことができる休憩スペースを完備

2021年3月期 新規出店と新たな取り組み

2021年3月期は引き続き7店舗を出店し、多様な出店モデルを追加

2021年3月期出店エリア



多様な出店モデルの追加 (居抜き)

クローズドモールへの居抜き出店※1

昨年のオープンモールへの居抜き出店に加え、クローズドモールへも出店

一棟居抜き出店※2

既存の大型ショッピングセンターをリメイク出店
スーパービバホームを核に新たなテナントを募りビバモールを形成する



ビバモール (埼玉県)

総売り場面積	約23,000㎡
テナント数 (予定)	約50

2021年3月期出店一覧 仮称 (出店地域)

SVH八代 (熊本県) ※1	SVH福岡東 (福岡県)
SVH東水巻 (福岡県)	VM宗像赤間 (福岡県) ※2
SVH日立 (茨城県)	VM未公表 (埼玉県) ※2
SVH熊本中央 (熊本県) ※1	

店舗数推移

計画どおり7店舗を出店し合計102店舗。2021年3月期もモール2店を含む7店舗を出店予定

	2019年 3月期末 店舗数	2020年3月期			2021年3月期（予定）		
		出店数	退店数	期末 店舗数	出店数	退店数	期末 店舗数
スーパービバホーム（SVH）	45	+7	0	52	+7	0	59
ニュービバホーム（NVH）	12	0	0	12	0	※-1	11
ビバホーム（VH）	36	0	-1	35	0	0	35
ハウステコ（新業態）	2	0	0	2	0	0	2
その他（VC'S単独店）	1	0	0	1	0	0	1
合計	96	+7	-1	102	+7	-1	108
うち、ビバモール（VM）	14	+3	0	17	+2	0	19

※NVH1店舗契約満了の為

ESG経営に関する取り組み

Topic 環境・BCP、LCPの取り組み

- ✓ 8店舗がZEB※1に認定
- ✓ 2021年までに大型既存店へ非常用発電機を設置
- ✓ ダンボールの回収・再生プロジェクト始動

ZEB 認定店舗の拡大



自家発電設備



災害時充電サービス



環境マネジメントシステム ISO14001認証の更新



地域・社会への貢献

新型コロナウイルス関連の支援

さいたま市、東松山市へ医療物資を寄付

【さいたま市】

- ・医療用マスク 3万枚
- ・医療用フェイスシールド5千枚

【東松山市】

- ・医療用、一般用マスク 計2千2百枚



その他

- ✓ 地域コミュニティダイアログの実施
- ✓ Paralym Art (障がい者支援)
- ✓ 国際貢献 UNHCR※2の活動支援
- ✓ 健康経営優良法人2020に認定

当社の新型コロナウイルス感染拡大防止対応

お客様、従業員の安全を第一に考え、3月上旬から店舗、本社で三密環境防止、飛沫感染拡大防止策を実施

店舗		本社	
店舗・販促	営業時間の短縮	オフィス	風通しをよくするために出入り口を開放
	「来ないでください宣言」GW期間の休業		ドアノブ・手すりのアルコール消毒
	プロモーションの自粛		不要不急の出張の自粛（海外は全て）
	風通しをよくするために店舗入り口を開放		研修の中止・延期
	レジ、カウンターに飛沫防止シートを設置		
お客様	レジ前ソーシャルディスタンスの確保	従業員	出勤前の検温
	店舗入り口での手指アルコール消毒		出勤、休憩、退勤時の手洗い、うがい
	トレーを使った金銭受け渡し（非接触）		テレワークの実施（接触8割削減）
			車通勤、時間差通勤の実施
従業員	出勤前の検温	<ul style="list-style-type: none"> ✓ テナント賃料の減免（スーパー、ドラッグストア除く） ✓ 店舗従業員への特別手当支給 ✓ 新店のスケジュール見直し 	
	出勤、休憩、退勤時の手洗い、うがい		
	業務中のマスク、フェイスシールド着用		

參考資料

販売費及び一般管理費の状況

(単位:億円、%)

	2019年3月期		2020年3月期		
	金額	売上比	金額	売上比	前年同期比
人件費	240	13.3	261	13.9	108.6
販売費	71	3.9	87	4.6	122.8
店舗費	209	11.6	233	12.4	111.4
賃借料	114	6.3	126	6.7	110.7
減価償却費	51	2.8	58	3.1	115.4
その他店舗費	43	2.4	47	2.5	108.8
管理費	34	1.9	39	2.1	116.2
販売費及び一般管理費	555	30.7	621	33.0	111.9

B/S (要約)

(単位:億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期		
	金額	金額	増減額	前期比
現金及び預金	78	100	21	127.3
売掛金	31	35	3	110.5
商品	397	428	31	108.0
上記以外の流動資産	68	35	-33	51.4
固定資産	1,207	1,307	99	108.3
総資産	1,783	1,906	123	106.9
負債	1,154	1,243	89	107.7
純資産	628	662	33	105.4

固定資産…主な項目として、有形固定資産 + 60、差入保証金 + 14

負債……長期リース債務 + 26、長期借入金 + 20、電子記録債務 + 14、1年内返済予定の長期借入金 + 10

純資産…当期純利益 + 65、配当 - 32 (中間 - 10)

C/F (要約)

	2019年3月期	2020年3月期	対前期増減
営業活動によるCF	98	123	24
投資活動によるCF	-88	-83	4
財務活動によるCF	-46	-18	28

特別損益

(単位:億円)

	2019年 3月期	2020年3月期			
		計画	実績	計画差	前年増減額
固定資産売却益	-	0	※ ² 4	4	4
抱合せ株式消滅差益	※ ¹ 117	-	-	-	-117
特別利益	117	0	4	4	-113
減損損失	2	8	3	※ ³ -5	1
特別損失	2	8	3	-5	1
特別損益	115	-8	1	9	-114

※ 1・・・2018年4月1日付で全連結子会社4社の吸収合併を行っているため、抱合せ株式消滅差益が発生

※ 2・・・取得済み本庄用地のリースバック

※ 3・・・主にセンター集約の減損計画繰り延べ

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額
設備投資 ※	114	137	22
減価償却費	51	58	7

※ 設備投資は有形固定資産、無形固定資産、敷金及び保証金を含み、ファイナンスリースは除く

免責事項

本資料は株式会社LIXILビバ（以下「当社」といいます。）の企業情報の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできません。

本資料のうち、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、実際の結果は本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。本資料の内容は、事前の通知なく変更されることがあります。

また、本資料に記載されている当社の企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

お問い合わせ先：IR広報室

TEL：小林 070-3161-8983 わたべ 渡部 070-3192-5605

Eメール vivair@lixil.com